

2009年 新年年頭所感

社団法人 日本内燃力発電設備協会

会長 竹野正二

新年明けましておめでとうございます。

平成21年を迎えて年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は、格別のご配慮を賜り、これもひとえに関係各位の倍旧のご支援・ご協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。

新年が関係各位にとってご多幸と事業のご発展の一年となるよう心からお祈り申し上げます。

我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱等を受けて先行き不透明な状況下であり、本年の日本経済は減速が避けられない見通しであると懸念をしています。

さて、本年の当協会の事業運営の方向と課題について申し述べてみます。

〔製品認証機関制度の適正な運営〕

まず、製品認証機関制度の適正な運営ということであります。

自家発電設備の認証制度については、財団法人日本適合性認定協会(JAB)からJIS Q 0065 (ISO/IEC

ガイド65)に基づく製品認証機関として認定を取得してから7年目を迎えました。

引き続き、本年も認証取得者に対するサーベイランス等、自家発電装置の認証基準に対する適合性評価を計画的に実施し、自家発電設備業界のみならずユーザーのためにさらなる品質の向上に努めて参ります。

また、JIS Q 0065規格要求事項である製品認証機関として、法令基準、国際規格及び国内規格との整合化、自家発電設備の技術基準への反映等に取り組み、技術体制の整備と強化を図ります。

〔登録認定機関の維持〕

当協会は、消防用設備の非常電源として使用する自家発電設備について、平成16年11月に総務省の



謹賀新年

会 長	副 会 長	副 会 長	専 務 理 事	理 事	理 事	理 事	理 事
竹 野 正 二	福 井 徹	窪 田 篤	伊 藤 芳 和	田 畑 芳 彦	片 柳 洋 一	山 本 一 太	川 俣 平 一 郎

登録認定機関に登録され、平成19年11月に登録認定機関の更新を致しました。

これを踏まえ、総務省の登録認定機関として、消防用設備等技術基準への適合性評価について、適正な事業運営を実施しております。

登録認定制度は、非常時に必要な電力を供給する防災用自家発電設備の保安確保の中心として重要な社会的責務を負っているということを深く再認識し、この制度のさらなる充実を図って参りたいと考えております。

〔専門技術者制度の的確な対応〕

次に、自家用発電設備専門技術者資格制度の的確な対応であります。

昨年は、2種類ある専門技術者資格のうち、可搬形発電設備専門技術者の受験者数が、移動用電気工作物の主任技術者選任に関する行政通達の改正で引き続き大幅な増加となる等、可搬形発電設備、自家発電設備を適切に取り扱う専門技術者の養成と確保の重要性が増してきております。

現在、専門技術者資格保有者数は延べ約3万人に達しております。本年はさらに資格保有者に対する技術レベル向上に努めるとともに、ユーザーを対象とした保守点検の重要性をピーアールする活動も展開したいと考えております。

〔協会運営基盤の整備〕

当協会の事業収支の改善については、本年も昨年に引き続き継続的に実施します。協会役職員が一丸

となって業務改善の推進及び経費の節約に努め、協会事業収支の安定化維持に努める所存であります。

広報誌「内発協ニュース」につきましては、協会事業活動、会員、関係官公庁等に関する掲載内容の一層の充実を図ります。当協会のホームページについても今後とも情報発信の迅速化に対応出来るように致します。

また、「公益法人制度改革」については、昨年の12月1日より関連三法が施行され、現行公益法人の移行手続きが開始されました。当協会も「公益法人制度改革」への的確な対応に努めるため、内部に検討委員会を設けて、制度改革のポイントの確認及び対応策について検討をしており、申請に向けて鋭意準備を進めております。

〔最後に〕

昨年は、国内では6月の「岩手宮城内陸地震」や各地で発生したゲリラ的豪雨等で多大な被害を出し、海外では、5月に「四川大地震」、「ミャンマーサイクロン」が発生し、甚大な被害をもたらすなど、大きな自然災害の恐ろしさを見せつけられました。

このような災害は不断の安全対策が大事となりますが、当協会では会員の皆様をはじめとする関係各位とともに、自家発電設備の保安確保の向上という協会活動の使命を深く認識して取り組みを強めてまいります。

最後になりましたが、本年も関係各位にとって輝かしい希望の年となりますことを祈念いたし、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

理	理	理	理	理	理	監	監
事	事	事	事	事	事	事	事
波	吉	外	玉	十	東	後	鬼
多	岡	池	田	亀	條	藤	木
野	謙				信	隆	隆
容		正	稔	彬	二	宏	久
子	一						